

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が4例(10歳未満男性2例及び女性1例, 30歳代男性1例)ありました。本年の累積報告数は23例となりました。  
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が2例(50歳代男性及び80歳代女性各1例)(第27週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は16例となりました。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(60歳代男性)ありました。症状は発熱, 咳, 肺炎, 菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は50例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が3例(40歳代及び50歳代男性各1例, 20歳代女性1例)(第27週追加報告分含む)あり、いずれも感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は40例となりました。  
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- ・ **百日咳**の報告が2例(10歳未満及び10歳代女性各1例)(第27週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は家族内です。本年の累積報告数は67例となりました。
- ・ **手足口病**の定点当たり報告数は、京都市が11.44、全国が12.64でした。京都市では第24週以降、全国では第25週以降、警報が継続しており、流行状態にあると言えます。予防や感染拡大防止を心がけてください。

## ◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

京都市における腸管出血性大腸菌感染症の報告が4例あり、本年の年間累積報告数は23例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 3例(肺結核 1例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 168例(肺結核 69例, その他結核44例, 潜在性結核感染者 55例)うち喀痰塗抹陽性 34例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 23例】
- ・ 四類: レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 16例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 50例】
- ・ 五類: 梅毒 3例【1月以降の累積報告数 40例】
- ・ 五類: 百日咳 2例【1月以降の累積報告数 67例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

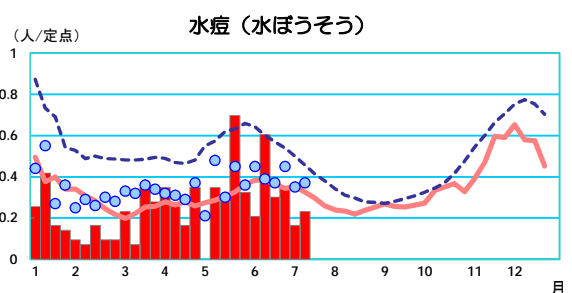
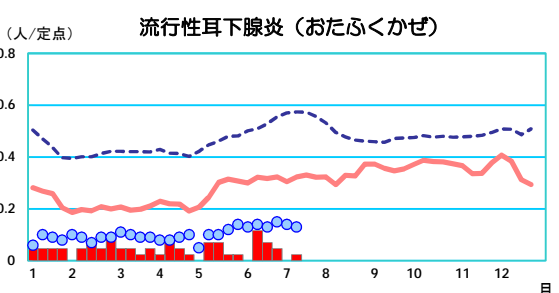
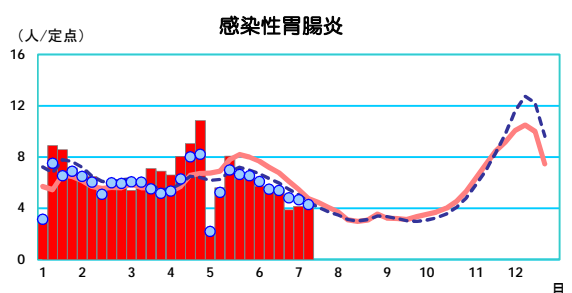
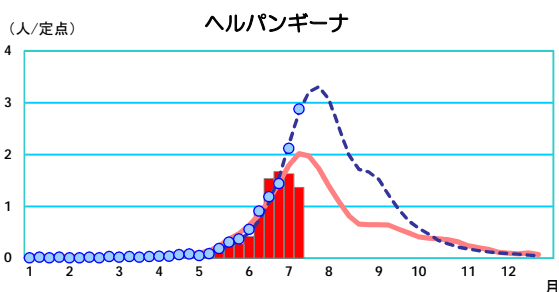
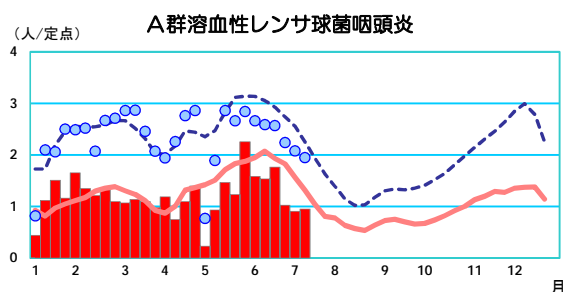
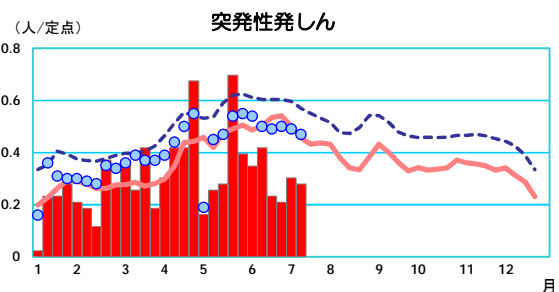
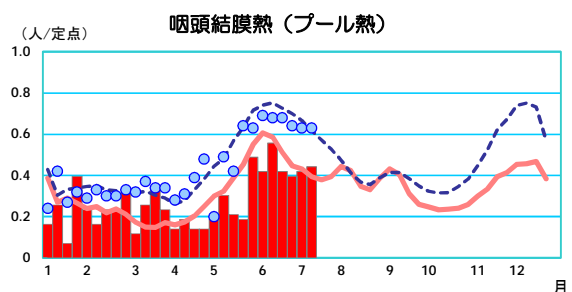
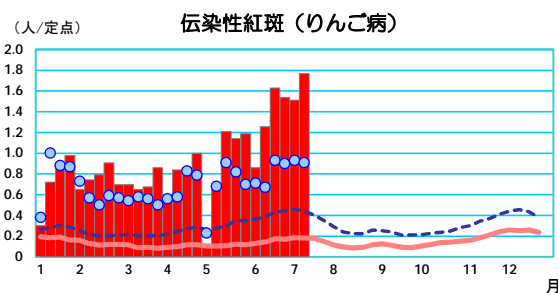
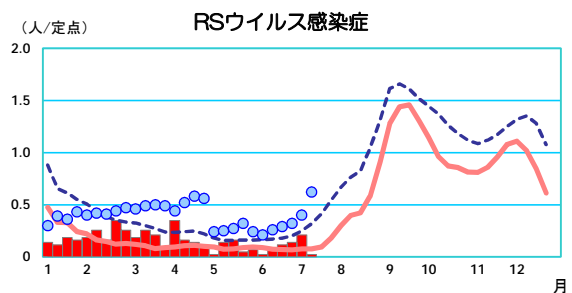
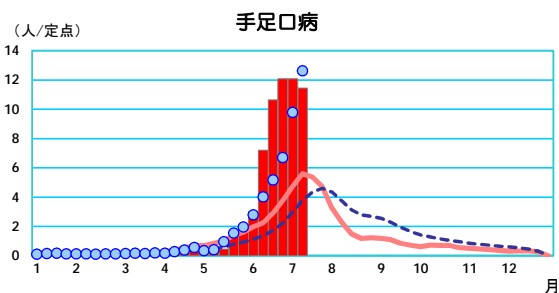
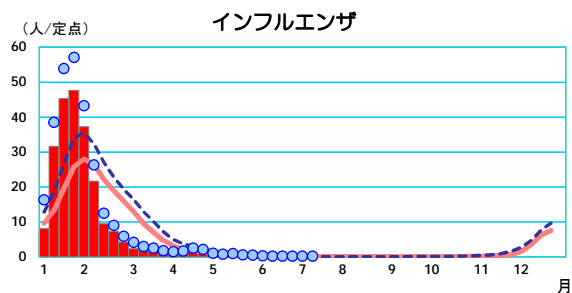
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	11.44	492
	② 感染性胃腸炎	4.23	182
	③ 伝染性紅斑	1.77	76
	④ ヘルパンギーナ	1.37	59
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	41
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年7月17日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



## 第28週(7月8日～7月14日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

京都市における腸管出血性大腸菌感染症の報告が4例あり、本年の年間累積報告数は23例となりました(図1)。本疾患は夏から秋にかけて多く報告されますが、下記の令和元年6月24日付け広報発表資料のとおり、市内児童福祉施設における集団感染などにより、第26週から毎週4～5例の報告が続く、累積報告数を同時期の過去5年と比較すると最も多くなっています(図2)。

本疾患は、ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌を原因とする感染症で、主な症状は激しい腹痛、水様性下痢及び血便です。腸管出血性大腸菌にはいくつかの血清型があり、「O157」や「O26」等が知られています。本市の平成25年から30年の報告では、例年、「O157」が大部分を占めていますが、本年は前述の集団感染の原因となった「O103」が全体の約半数を占めています(図3)。

主な感染経路は、飲食物を介する経口感染です。感染予防には、食中毒予防の基本(菌やウイルスをつけない、増やさない、やっつける)の徹底が重要で、特に食肉等の中心部までの十分な加熱(75度で1分以上)が有効です。加えて、腸管出血性大腸菌は非常に少ない菌量でも感染することから、食品だけでなく、患者や保菌者の便で汚染されたもの(タオルやトイレのドアノブ等)を介して感染することもあります。トイレの使用後や食事前は流水と石けんで十分に手洗いし、予防に努めましょう。

夏期は細菌性食中毒が発生しやすい時期です。厚生労働省では8月1日から31日を食品衛生月間と定めています。また、本市でも8月1日を「食の安全安心推進の日」(食の安全・安心デー)と条例で定め、食品衛生の普及・啓発活動を行っています。下記を参考に「食中毒予防」や「手洗いの方法」を今一度、確認しましょう。

○「食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント」(政府広報オンライン)

[http://www.gov-online.go.jp/featured/201106\\_02/](http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_02/)

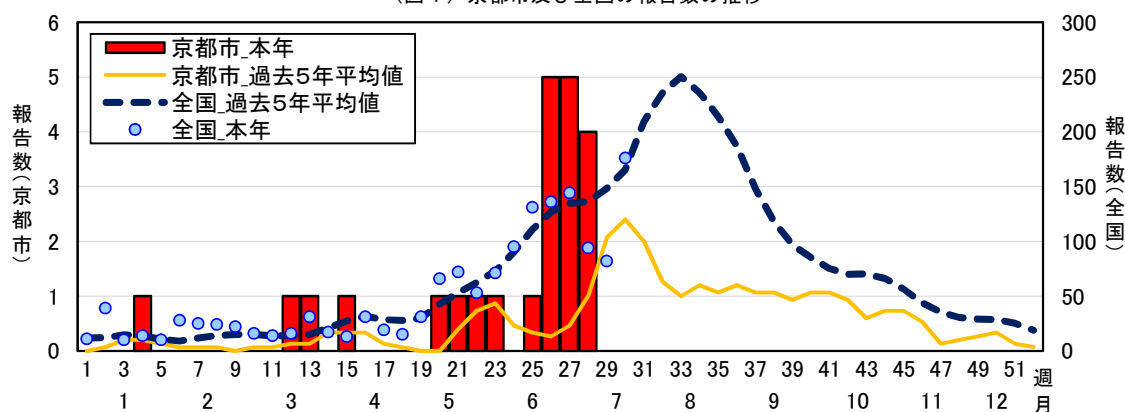
○「手洗いの方法」(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

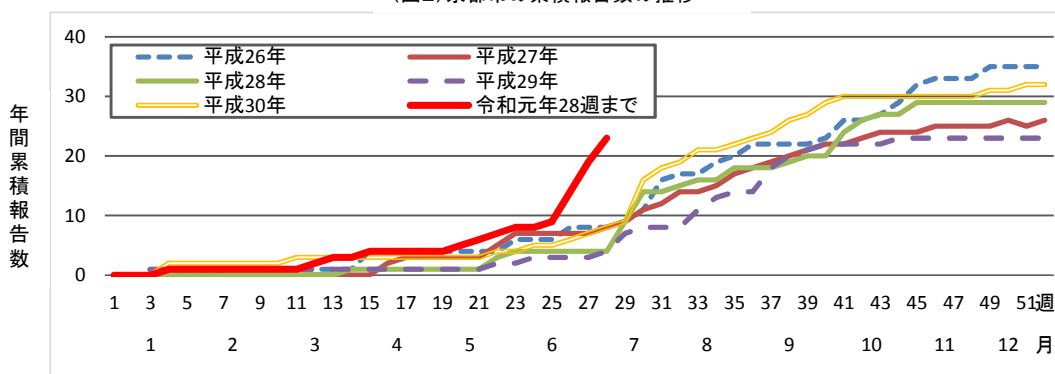
【広報資料】「腸管出血性大腸菌感染症(O103)による集団感染事例の発生について」(令和元年6月24日付)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000253958.html>

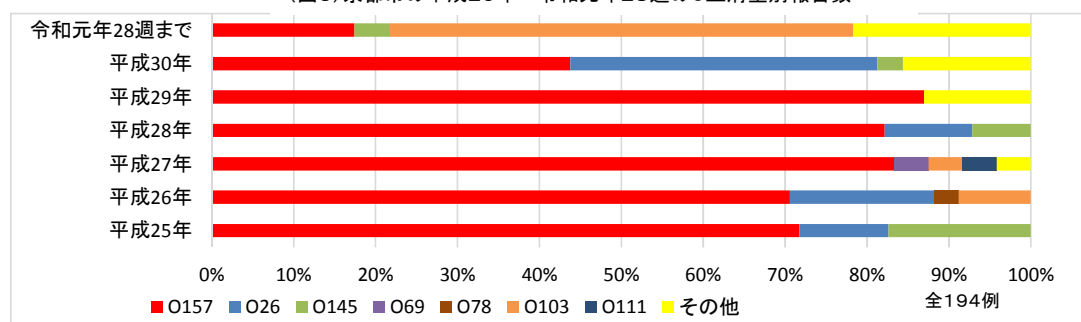
(図1) 京都市及び全国の報告数の推移



(図2) 京都市の累積報告数の推移



(図3) 京都市の平成25年～令和元年28週のO血清型別報告数



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第28週

疾病,行政区別報告数

2019年7月8日～2019年7月14日

データ入手日:2019年7月17日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	5	1	1	3	-	-	-					
上京	-	-	-	6	4	1	23	6	-	3	-	-	-					
左京	-	-	2	1	26	2	100	15	-	14	-	-	-					
中京	-	-	-	1	7	-	17	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	17	-	4	1	-	1	-							
山科	1	-	4	4	2	-	72	3	3	10	-	-	2					
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-							
南	-	-	2	1	20	2	40	6	-	4	-							
右京	2	-	4	17	23	1	83	11	1	8	1	-	2					
伏見	-	1	4	10	68	2	114	27	6	7	-	-	2					
西京	-	-	3	-	15	2	33	2	1	3	-	-	-					
京都市計	3	1	19	41	182	10	492	76	12	59	1	-	6	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	1.25	0.25	0.25	0.75	-	-	-					
上京	-	-	-	2.00	1.33	0.33	7.67	2.00	-	1.00	-	-	-					
左京	-	-	0.50	0.25	6.50	0.50	25.00	3.75	-	3.50	-	-	-					
中京	-	-	-	0.33	2.33	-	5.67	1.33	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	8.50	-	2.00	0.50	-	0.50	-							
山科	0.14	-	0.80	0.80	0.40	-	14.40	0.60	0.60	2.00	-	-	2.00					
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-							
南	-	-	0.67	0.33	6.67	0.67	13.33	2.00	-	1.33	-							
右京	0.25	-	0.80	3.40	4.60	0.20	16.60	2.20	0.20	1.60	0.20	-	2.00					
伏見	-	0.14	0.57	1.43	9.71	0.29	16.29	3.86	0.86	1.00	-	-	1.00					
西京	-	-	0.60	-	3.00	0.40	6.60	0.40	0.20	0.60	-	-	-					
京都市計	0.04	0.02	0.44	0.95	4.23	0.23	11.44	1.77	0.28	1.37	0.02	-	0.60	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第28週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年7月8日～2019年7月14日

データ入手日:2019年7月17日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ (※1)	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症		19	-	1	5	5	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		41	-	1	3	1	6	3	8	4	6	4	1	3	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		182	2	6	23	30	23	7	19	13	9	5	7	21	2	15	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		10	-	-	1	-	1	1	1	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
水痘		492	1	73	149	119	73	34	19	8	4	2	-	4	-	6	-	-	-	-	-	
手足口病		76	-	1	2	3	12	18	17	9	3	6	2	2	-	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		12	-	5	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		59	1	7	11	16	12	4	2	3	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
急性出血性結膜炎		6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	1		
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.04	-	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.44	-	0.02	0.12	0.12	0.07	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.95	-	0.02	0.07	0.02	0.14	0.07	0.19	0.09	0.14	0.09	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.23	0.05	0.14	0.53	0.70	0.53	0.16	0.44	0.30	0.21	0.12	0.16	0.49	0.05	0.35	-	-	-	-	-	-
水痘		0.23	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.09	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		11.44	0.02	1.70	3.47	2.77	1.70	0.79	0.44	0.19	0.09	0.05	-	0.09	-	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1.77	-	0.02	0.05	0.07	0.28	0.42	0.40	0.21	0.07	0.14	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.28	-	0.12	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.37	0.02	0.16	0.26	0.37	0.28	0.09	0.05	0.07	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.30	-	-	0.10	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第28週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年7月17日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	71	17	10	8	6	3
RSウイルス感染症	1	3	5	6	9	1
咽頭結膜熱	18	24	18	17	18	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	66	76	44	39	41
感染性胃腸炎	246	230	233	167	179	182
水痘	9	26	13	15	7	10
手足口病	129	310	458	520	520	492
伝染性紅斑	37	54	70	66	65	76
突発性発しん	15	18	10	9	13	12
ヘルパンギーナ	18	42	66	72	70	59
流行性耳下腺炎	-	5	3	2	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	3	8	1	3	6
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	2	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	615	798	972	927	929	902

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1.03	0.25	0.14	0.12	0.09	0.04
RSウイルス感染症	0.02	0.07	0.12	0.14	0.21	0.02
咽頭結膜熱	0.42	0.56	0.42	0.40	0.42	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.58	1.53	1.77	1.02	0.91	0.95
感染性胃腸炎	5.72	5.35	5.42	3.88	4.16	4.23
水痘	0.21	0.60	0.30	0.35	0.16	0.23
手足口病	3.00	7.21	10.65	12.09	12.09	11.44
伝染性紅斑	0.86	1.26	1.63	1.53	1.51	1.77
突発性発しん	0.35	0.42	0.23	0.21	0.30	0.28
ヘルパンギーナ	0.42	0.98	1.53	1.67	1.63	1.37
流行性耳下腺炎	-	0.12	0.07	0.05	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.80	0.10	0.30	0.60
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1.00	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	2.00	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	14.81	18.64	25.08	21.56	21.78	21.41

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。